






JCOMM *news*

日本モビリティ・マネジメント会議ニューズレター


令和元年度JCOMM賞発表!

JCOMM実行委員会では、令和元年度JCOMM賞の各賞受賞者を選定致しました。受賞者の方には、第14回JCOMMにて、表彰を行います。


プロジェクト賞

- 
戸別訪問による公共交通沿線住民への利用促進啓発活動の普及へ向けた取り組み
 富山市・富山地方鉄道(株)・(株)計画情報研究所
- 
「災害時MM」平成30年7月豪雨発災後の広島～呉間の交通マネジメント
 広島・呉・東広島都市圏災害時交通マネジメント検討会
- 
西日本豪雨災害時の公共交通情報提供プロジェクト～システムの緊急開発と実装、評価～
 伊藤昌毅[東京大学 生産技術研究所]・諸星賢治[(株)ヴァル研究所]・
 神田佑亮[呉工業高等専門学校]・太田恒平[(株)トライフックブレイン]・
 森山昌幸[(株)バイタルリード]・藤原章正[広島大学大学院国際協力研究科]

マネジメント賞

- 
BRT・新バスシステムを契機とした持続可能なバス交通体系の構築
 新潟交通(株)・新潟市・鈴木文彦

デザイン賞

- 
新高校生(中学3年生)とその保護者対象の公共交通利用促進モビリティ・マネジメントリーフレット「合格祈願 エコ通学のススメ」
 群馬県県土整備部交通政策課・齋藤綾[AYA DESIGN OFFICE]・
 筑波大学公共心理研究室

JCOMM会議 全体プログラム

7/19
[金曜日]

【開催地企画】10:00～12:00

- 講演「金沢市の交通まちづくりの歩み(仮)」
高山 純一氏[金沢大学教授]
- パネルディスカッション
「これからのライフスタイルとモビリティ～金沢・北陸の取組から考える～(仮)」

12:00 開場

【オープニングセッション】13:00～15:05

- 開会挨拶
藤井 聡[(一社)日本モビリティ・マネジメント会議代表理事・
京都大学大学院教授]
- 謝辞
- 講演1(13:15～13:55)
「金沢市の交政策の取り組み(仮)」
鳥倉 俊雄氏[金沢市都市政策局交通政策部長]
- 講演2(13:55～14:35)
「富山市のライフスタイルと交通の取り組み(仮)」
高森 長仁氏[富山市 元活力都市創造部長
(現 軌道整備事業安全統括管理官)]

15:05～15:15 休憩・移動(10分)

【ポスターセッションA】15:15～16:35

16:35～16:45 休憩・移動(10分)

【口頭発表1】16:45～18:15 「JCOMM受賞者セッション」

意見交換会 18:30～

7/20
[土曜日]

8:40 開場

【口頭発表2】9:00～10:00 「MMと情報化・オープンデータ」

10:00～10:10 休憩・レイアウト変更(10分)

【企画セッション】10:10～12:10 「MMとMaaS:世界や日本の潮流とインストール」

12:10～13:10 休憩・昼食(60分)

- 12:15～12:35 JCOMM実行委員会
- 12:45～13:15 JCOMM総会

【ポスターセッションB】13:15～14:35

14:35～14:45 休憩・移動(10分)

【口頭発表3】14:45～16:05 「海外の事例からMMの基本的アプローチを再考する」

【国土交通省・関係団体より情報提供】 16:05～16:35

【クロージングセッション】16:35～17:00

- 閉会挨拶
- 次回開催地より

17:00 閉会



株式会社バイタルリード



「縁結びの神様」として知られる出雲大社のある島根県出雲市に本社を置く当社は、「交通」をキーワードに元気で幸せな社会をつくることを目指して、道路・公共交通・観光分野を中心とした各種調査・分析・計画策定、事業評価などのコンサルティング事業並びにシステム機器の開発や旅行業を展開しており、昨年に創業20周年を迎えました。

JCOMMの活動には、平成20年度(第3回)から参加させていただいています。平成25年度には「神門通りの出雲大社門前にふさわしい風格とにぎわい再生事業」でJCOMMプロジェクト賞をいただきました。このプロジェクトは、「モーターリゼーションの進展によりかつての賑わいが失われていた出雲大社の参詣道「神門通り」において、60年に一度の大遷宮にあわせて全国から観光客をお迎えするにあたり、通りに風格を持たせ、にぎわいを再生しよう」という大きな目標に向けて関係者が一丸となって取り組んだ事業です。MM施策としての「神門通りPR館開設による情報提供・行動アドバイス」、「まち歩き観光促進のためのコミュニケーション・アンケート」、「石畳裏面へのメッセージ記入イベント」を、シェアード・スペースとしての石畳化工事や景観・魅力向上対策、交通規制・誘導対策と連携して展開したもので、MM施策の効果としては、離れた駐車場を選択した人の増加、滞在時間や支出額の増加などが計測されました。



石畳裏面へのメッセージ記入イベントの様子

◀出雲大社参詣道「神門通り」



また、本年度は「西日本豪雨災害時の公共交通情報提供プロジェクト」システムの緊急開発と実装・評価」で、2度目となるJCOMMプロジェクト賞を受賞することができました。大規模自然災害が頻発する中、災害時における交通ネットワーク確保のツールとしてのMMの重要性が、今後ますます高まってくるものと考えています。

新しいサービスや技術の登場により、公共交通のあり方は目まぐるしく変化しています。当社は、MMを通じて交通に関わるさまざまな「ご縁」を結び役割を担いつつ、中国地方から日本を元気で幸せにしていけるよう、これからも取り組んでまいります。



京都市公共交通ネットワーク会議・外国語案内充実ワーキンググループ

京都市計画局 歩くまち京都推進室

京都市では、人と公共交通優先の「歩いて楽しいまち」の実現に向けて「歩くまち・京都」総合交通戦略を策定し、この戦略の柱の1つである「既存公共交通の取組」として、すべての人が、快適、便利に利用できる公共交通の利便性向上を推進してきました。

京都市を訪れる観光客数は5年連続で5,000万人を超えています(平成29年実績)。特に外国人観光客については近年増加傾向にあります。これに伴い、外国人観光客の主な移動手段であるバスや鉄道の外国語案内が喫緊の課題となり、各交通事業者が取組を独自に進めてきた結果、案内情報が充実してきた一方で、外国語の表現方法に差異が生じる例が発生し、逆に円滑な移動の妨げとなるような事態が散見されるようになりました。

こうした状況を踏まえ、「外国人利用者への公共交通案内情報の共通化」に取り組むこととし、京都市域を運行する主なバス・鉄道事業者、学識経験者、国土交通省近畿運輸局、コンサルタントらとともに「京都市公共交通ネットワーク会議(外国語案内充実ワーキンググループ)」を発足させ、バス・鉄道の外国語案内の現状や課題等について検討を開始しました。

この取組の成果として、平成28年度は、各交通事業者間で外国人利用者の事例を集約したうえで、「外国人利用者向けの公共交通案内情報(共通化)をめざした取組指針」を策定しました。これにより、交通事業者間で模範的な事例が共有されることにも、取組事例の増加につながり、平成29年度には第2版の発行にも至りました。

また、平成30年度には、多発する自然災害に対する案内の充実に向け「NEKworld」やJNTO、一般財団法人自治体国際化協会(CLAIR)などの外部団体と連携し、案内冊子の作成等を行いました。

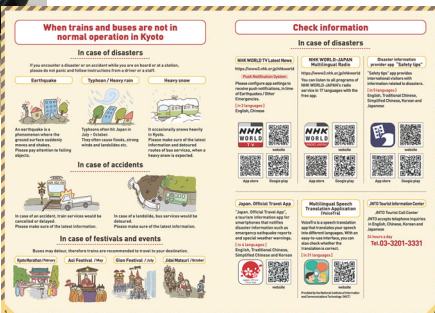
これらの取組は、京都市域を運行する主な鉄道・バス事業者の大半(バス8社局、鉄道8社局)が参加し、共通の目標に向かって会社間の垣根を越えた議論を行う点が大きな特徴です。そして、このような事業者同士による関連な意見交換の場はこの取組に留まらない事業者連携の素地を養い、本市の交通政策における大きな力となっていると言えます。

本市では、引き続き本取組を継続し、更なる向上を目指すとともに、交通事業者等との連携をより一層、深めることで、「歩くまち・京都」の更なる推進を図ってまいります。

◀ワーキンググループによる会議の様子



外国人観光客向け自然災害に対する案内冊子



編集後記

今年もJCOMM賞に多くの推薦・応募を頂戴し、ありがとうございました。モビリティ・マネジメントの取り組みの多様化を感じております。JCOMM開催まであと一月をきりましたが、いかがお過ごしでしょうか?みなさまと、金沢でお会いできるのを楽しみにしております。

一般社団法人システム科学研究所 東 徹